

障害のある人、外国人、LGBTs、高齢者など、大学の職員や学生のあり方が多様化しています。しかし、社会や大学の仕組み、私たちの意識がこうした多様性を包摂できるように変化したかという、そうとは言えないようです。

今回のFDでは、この問題にデザインの観点から取り組んできた芸術工学研究院の教員と、当事者支援や大学の環境づくりを精力的に行っているインクルージョン支援推進室の教員が集まり、現状の課題や今後の連携の可能性について話し合います。

デザインとは、思考の枠組みやコンセプトを(再)設計し、もの・こと・サービス・社会のしくみを(再)創造する行為を指します。デザインのアプローチが、多様性を包摂する社会づくりにどのように貢献できるかについて、ハード、ソフトの両面から具体的に考えていきます。

16:40～

**挨拶** 谷正和 芸術工学研究院長・教授

**趣旨説明** 中村美亜 芸術工学研究院 准教授

話題提供

**伊都キャンパスのバリアフリープロジェクト**

羽野暁 キャンパスライフ・健康支援センター 特任助教  
鶴飼哲矢 芸術工学研究院 准教授

**ソーシャルアトラボのプロジェクト**

長津結一郎 芸術工学研究院 助教

**福祉人間工学・アダプテッドスポーツからのアプローチ**

村木里志 芸術工学研究院 教授

**インクルージョン支援推進室の現状と課題**

田中真理 キャンパスライフ・健康支援センター 教授  
横田晋務 キャンパスライフ・健康支援センター 准教授

17:30～

ディスカッション

**問題の所在 / 解決へのアプローチ  
連携の可能性 など**

**挨拶** 尾本章 芸術工学研究院 副研究院長・教授

18:50-20:20 交流会 (※要事前申込。参加費 3,000 円)



谷正和

芸術工学研究院長 教授。芸術工学研究院長として、部局の教育研究プロジェクトである「社会包摂のためのデザイン」を推進しています。



尾本章

芸術工学研究院副研究院長 教授。ソーシャルアトラボラボ長、博士(工学)。専門は音場再生など応用音響工学。



中村美亜

芸術工学研究院 准教授。ソーシャルアトラボ副ラボ長。専門は芸術社会学、文化政策。創造とエンパワメントの関連などを研究しています。



羽野暁

キャンパスライフ・健康支援センター 特任助教。バリアフリー環境デザインの実践を通して、障害者や高齢者、子供にとって居心地の良い空間づくりに取り組んでいます。



鶴飼哲矢

芸術工学研究院 准教授。専門は都市デザイン、建築デザイン。「だんだんボックス」という、障がいのある方の絵の才能を社会に送り出す応援をしています。



長津結一郎

芸術工学研究院 助教。アーツ・マネジメント、文化政策学などをベースとし、障害のある人の芸術表現活動に着目した研究を行っています。



村木里志

芸術工学研究院副研究院長 教授。認定人間工学専門家。専門は福祉人間工学・身体運動科学、過去にはアダプテッド(障がい者)スポーツの研究・教育にも取り組む。

田中真理

キャンパスライフ・健康支援センター / 基幹教育院 教授。インクルージョン支援推進室長。専門は発達臨床心理学で、特に発達障害児者の心理的教育支援を研究テーマとしています。

横田晋務

キャンパスライフ・健康支援センター / 基幹教育院 准教授。インクルージョン支援推進室にて障害者支援を行っています。専門は、発達障害学、認知神経科学です。